記入要領

国民健康保険税減免申請書

記入した日

年　月　日

鹿屋市長　様

鹿屋市国民健康保険税条例第32条第２項の規定により、国民健康保険税の減免を受けたいので申請書を提出します。

申請者			
現住所	**世帯主の住所**		
氏名	**世帯主の氏名**	生年月日	**世帯主の生年月日**
電話番号	**日中繋がる電話番号**	記号番号	**保険証の番号**

申請する国民健康保険税	現年度分		過年度分			
	税額	円	年度		税額	円

申請の理由

該当する☐にチェック（☑）の上、必要事項を記入

☐ **災害による被害**（第２条第１号関係）

☐災害により障害者　☐住宅等の損害　☐農産物の損害

被害状況	所在地	地目又は名称	面積又は数量	程度及び金額
				％ 円
				％ 円

その他状況：

☐ **特別災害による被害**（第２条第２号関係）

☐主たる生計維持者が死亡又は重篤な傷病　☐主たる生計維持者が行方不明

☐主たる生計維持者の収入が減少　☐主たる生計維持者以外が行方不明

☐主たる生計維持者の住宅が損害

☐全壊　☐半壊　☐大規模半壊　☐床上浸水　☐長期避難世帯

☐ **失業等による所得の減少**（第２条第３号関係）

☐失業　☐休業　☐廃業　☐疾病　☐負傷　☐その他【　　】

☐ **矯正施設**（第２条第４号関係）　【施設：　　】

【在所期間：　年　月　日　から　年　月　日　まで　】

☐ **特別感染症の感染で、主たる生計維持者が死亡又は重篤な傷病**（第２条第５号ア関係）

【発症日：　年　月　日　／　判明日：　年　月　日】

【治療期間：　年　月　日　から　年　月　日　まで　】

☐ **特別感染症の影響で、主たる生計維持者の収入が減少**（第２条第５号イ関係）

☐ **ＤＶ等の被害**（第２条第６号関係）　【転入等の異動日：　年　月　日】

☐配偶者からの暴力　☐ストーカー行為等　☐児童虐待　☐その他【　　】

☐ **その他**（第２条第７号関係）　【　　】

家族の状況

氏名	続柄	職業又は勤務先 失業・廃業前	職業又は勤務先 現在	失業日・廃業日 休業期間
	世帯主			

世帯主及び国保加入者の氏名・続柄を記入

収入減少で失業・廃業の場合、失業・廃業前の職場を記入

収入減少で失業・廃業の場合、現在就労（再就職など）していれば、現在の職場を記入

収入減少で失業・廃業の場合、失業日・廃業日を記入休業の場合は休業期間を記入

その他

その他必要事項を記入

関係書類を添付します。

記入要領

収入・所得見込額No.1/2

給与・公的年金収入の収入・所得見込額

太枠内を記入してください。「続柄」「収入の種類」は、〇で囲んでください。

（単位：円）

氏　名				
続　柄	世帯主・妻・夫・子・（　　）		世帯主・妻・夫・子・（　　）	
収入の種類	給与収入　公的年金収入（老齢年金）　課税収入なし		給与収入　公的年金収入（老齢年金）　課税収入なし	
年　月	収入額	勤務先	収入額	勤務先
令和5年 1月				
令和5年 2月				
令和5年 3月				
令和5年 4月				
令和5年 5月				
令和5年 6月				
令和5年 7月				
令和5年 8月				
令和5年 9月				
令和5年 10月				
令和5年 11月				
令和5年 12月				
収入額合計				
所得額合計				

※世帯主（国保加入者でない場合を含む。）及び国保加入者の収入・所得を記入して　ください。ただし、特別感染症又は特別災害の影響による収入減少の場合、世帯主の収入のみ記入してください。
※収入なしの場合は、収入額に０円と記入してください。
※収入が非課税収入（障害年金、遺族年金、失業手当、傷病手当など）だけの場合は、収入額に０円と記入してください。
※収入見込額は、手取り収入ではなく、総収入を記入してください。
（給与であれば所得税、住民税、社会保険料、年金保険料などの差引前）
（公的年金であれば所得税、介護保険料、国民健康保険税などの差引前）
※給与で源泉徴収票がある場合は、次のような記入でよいです。

年　月	収　入　額	勤　務　先
１月	300,000	株式会社　国保商事
２月		
３月		
４月		

※市役所では、令和５年１月以降の収入の情報を把握していません。
（令和５年６月以降でないと把握できません。）

（単位：円）

氏　名				
続　柄	世帯主・妻・夫・子・（　　）		世帯主・妻・夫・子・（　　）	
収入の種類	給与収入　公的年金収入（老齢年金）　課税収入なし		給与収入　公的年金収入（老齢年金）　課税収入なし	
年　月	収入額	勤務先	収入額	勤務先
令和5年 1月				
令和5年 2月				
令和5年 3月				
令和5年 4月				
令和5年 5月				
令和5年 6月				
令和5年 7月				
令和5年 8月				
令和5年 9月				
令和5年 10月				
令和5年 11月				
令和5年 12月				
収入額合計				
所得額合計				

上に同じ

世帯所得額小計（No.1/2）

※収入がない場合も記入してください。

記入要領

給与・公的年金収入以外の収入・所得見込額

太枠内を記入してください。「続柄」「所得の種類」は、〇で囲むか記入してください。

（単位：円）

氏名										
続柄	世帯主・妻・夫・子・（　　）					世帯主・妻・夫・子・（　　）				
所得の種類	営業等所得　農業所得　不動産所得 他（　　）					営業等所得　農業所得　不動産所得 他（　　）				
年月	① 収入額	② 補填額	③ 補填後 (①+②)	④ 経費等	⑤ 所得額 (③−④)	① 収入額	② 補填額	③ 補填後 (①+②)	④ 経費等	⑤ 所得額 (③−④)
令和5年 1月										
2月										
3月										
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
A 合計										
B 控除額	（専従者控除、青色申告特別控除など）					（専従者控除、青色申告特別控除など）				
C 所得額	（A−B）					（A−B）				

※世帯主（国保加入者でない場合を含む。）及び国保加入者の収入・所得を記入してください。ただし、特別感染症又は特別災害の影響による収入減少の場合、世帯主の収入のみ記入してください。
※給与所得・公的年金等の雑所得・営業等所得・農業所得・不動産所得以外の所得がある場は、「他（　　）」に所得の種類を記入してください。（「一時所得」「長期譲渡所得」「短期譲渡所得」「その他雑所得」など）
※退職所得（退職金、一時恩給など）は、記入する必要がありません。
※収入額（①）は、収入金額を記入してください。
※補填額（②）は、保険金・損害賠償などにより補填される金額を記入してください。
※国や都道府県から支給される新型コロナウイルス感染症関係の各種給付金については、収入額（①）や補填額（②）に含めません。

（単位：円）

氏名										
続柄	世帯主・妻・夫・子・（　　）					世帯主・妻・夫・子・（　　）				
所得の種類	営業等所得　農業所得　不動産所得 他（　　）					営業等所得　農業所得　不動産所得 他（　　）				
年月	① 収入額	② 補填額	③ 補填後 (①+②)	④ 経費等	⑤ 所得額 (③−④)	① 収入額	② 補填額	③ 補填後 (①+②)	④ 経費等	① 収入額
令和5年 1月										
2月										
3月										
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
A 合計										
B 控除額	（専従者控除、青色申告特別控除など）					（専従者控除、青色申告特別控除など）				
C 所得額	（A−B）					（A−B）				

上に同じ

世帯所得額小計（No.2/2）		世帯所得額合計（No.1/2+No.2/2）	